

市長と話し合う会 本納公民館

平成 25 年 11 月 10 日（日） 13 時 30 分～

1. 茂原市土地開発公社の負債総額について
2. 今後の水害対策について
3. 災害時の保険について
4. 市のオープンデータの活用について
5. 赤目川周辺地域の治水計画について
6. 本納駅東側改札口の計画について
7. 治水対策の想定年数について
8. 水害と地盤沈下の関連性について
9. 空地・空家周辺の側溝対策について
10. 市長と話し合う会の会議録について
11. 天然ガスを利用した電力業者の誘致について
12. 市バスの利用方法について
13. メガソーラー事業について
14. 田中下踏切の一方通行化について
15. 茂原白子線の整備について
16. ハザードマップの活用について
17. 河川周辺の治水対策について
18. 消防団団員の確保について
19. 市ホームページの更新日について

当日未回答資料

1. 茂原市土地開発公社の負債総額について

平成25年度「市長と話し合う会」

平成25年11月10日

◆議事進行者

それでは始めさせていただきます。会を始める前に、皆様方に何点かお願いがございます。本日のご質問をいただく順番でございますが、最初は事前にご質問、ご要望を提出していただいている方をご指名いたします。本日は1名の方から事前に質問を提出していただいております。その方が終わりましたら、本日ご参加されている皆様のご質問を伺いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、発言方法でございますが、発言なさる方は必ずお名前または団体名をおっしゃってください。また、お1人のご質問時間については5分以内で2問までまとめてご発言をお願いしたいと思います。また、できるだけ大勢の皆様よりご質問をいただきたいと思いますので、簡潔にお願いいたします。

最後に、本日の市長と話し合う会の終了予定時間は4時30分を目安とさせていただきます。4時15分ごろから、市長に本日の市長と話し合う会の総括を行っていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

重ねて申し上げますが、質問要旨はできるだけ簡潔にお願いしたいと思います。多くの方のご意見をいただくため、皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは始めたいと思います。

まず最初に、事前にご質問、ご要望をいただいている方より発言をお願いします。事前にご質問、ご要望をいただいている〇〇さんは挙手をお願いします。

それではお願いいたします。

## 1. 茂原市土地開発公社の負債総額について

◆質問者1

先週の話し合う会にも出席させていただきましたが、いろいろ質問させていただいたのですが、ちょっとまだ十分質問できなかったということもございまして、今日また参加させていただきました。東部台から参りました。

先ほど市長からもお話がございましたが、今、茂原市の最大の問題は土地開発公社による債務保証、これに伴う茂原市の借金であるということがございました。

これに関しまして、昭和47年からの土地開発公社の設立以来、これまでに市が負担してきた返済額、元利合計、それから市長がいろいろ努力されて、ここで第三セクターの30年債に切りかえられたと、これは非常に良くやられたと思っております。ですが、これからまだ30年間、この借金を返済しなければならない。そうしますと、これから30年間に返済する元利合計はいくらになるのか。それから、これまでの元利合計、合わせて合計で恐らく何百億円になるのだと思います。それを明確に教えていただきたいと思っております。

このお話があった後で、これに関してもう一回質問させていただきます。

#### ☆企画財政部長

企画財政部長の三浦でございます。よろしく申し上げます。

まず、公社につきましては、地価上昇期におきまして、市が将来必要となる土地を先行取得することにより事業費の抑制に寄与し、本市のまちづくりに大きな役割を果たしてまいりました。債務保証していた公社の借入金の残高ですが、昭和49年の設立当初は約5億2,000万円。最大は平成5年の約231億5,000万円となっております。

その後、公社の土地の買い戻しが進まなかったため、平成10年度より債務負担行為償還計画を策定し、返済しない年もございましたが、年間に約3億から8億を返済しており、これにより市民サービスが低下したことは否めません。

今回、第三セクター等改革推進債を活用しまして、公社の解散という抜本的改革を行ったところでございます。これに伴います第三セクター等改革推進債につきましては、昨年度130億8,940万円を借り入れ、今後は義務的経費として毎年返済してまいります。

この返済期間は、平成24年度から平成54年度までの30年間でございますが、仮に利率が変動しないとしたしまして、償還額全体で約164億円で、それに対しまして国のほうから特別交付税措置が約14億円ありまして、差し引きで実質償還額は約150億円程度が見込まれております。

公社に係る検証についてですが、公社の土地に係る取得年度及び売却年度を、当時の時代背景等を考慮しながら調査することといたします。事務の執行については、法令に基づき適正に執行するとともに、監査及び予算や決算を通じて市議会のチェックも受けてきたところでございます。

今回の要因につきましては、バブル崩壊以降の地価下落により、土地需要の変化や景気低迷など社会経済情勢の変化を見通すことが困難であったと考えております。

以上でございます。

#### ◆質問者1

今まで支払った額と、それから、先ほど言った164億はこれから支払う額ですね。今までの額も教えてください。それから合計も教えてくださいと言ったのですが、何か間違っているのでしょうか。

#### ☆企画財政部長

その部分は、後ほどきちとした数字を示せますので。元利合計のほうはちょっと今、すぐに出せないのですが、申しわけございません。

## ◆質問者 1

私は事前に質問しているんですよ。なぜこれまでに調査されていないのですか。概要でどれぐらいになると考えていますか。そのぐらいの、この大問題に対して、普段から茂原市、要するに市民はこれだけ負担したのだという切実感というか、責任感というか、なぜないのですか。

正確に今答えられないのだったら概略でいいですよ。何百億円になるんですか。

そもそも、この150億から170億とか、こういう額で見るから。結構でかい額だけれども。茂原市の予算の250億から270億からすれば非常にでかい額。しかし、せいぜい160、170億、こういう額で見ちゃうから問題が小さく見えるんですよ。今まで、市民がこれだけ負担してきた額、こういうものをきちっと把握しないで、あとこれから30年間の額をトータルして何百億円になるか、そんなことは当然頭に入っていていいはずじゃないですか。

時間が、ほかの方に迷惑をかけてはいけないから、じゃあ結構です。きちんと出してください。要するに、市民がこれまでに負担してきた額、負担というか、いかに市民に迷惑をかけたかということです。今まで市民が税金で負担してきた額、それから、これから30年間負担しなければならない額、総額をきちっと出してください。いいですか。

それから、いいです、恐らく何百億になるでしょう。200億か300億か。ということは、茂原の1年間の財政に匹敵するわけですよ。それで、先週もいろいろ市民から要望が出た。例えば小学校などはもう塗装もはげかけて、灰色どころか黒い校舎になっている。あるいは市民会館の控室があまりにもひどくてのど自慢も呼べないと、市長からお話がありました。そのほか、水害対策等いろいろあるでしょう。それから、昨年度も出ていた、映画館がなくなってどうにかできないかというような話。これに対して、東部台文化会館にDVDのプロジェクターでも入れてくれないか。100万円です。

しかし、こういうものがいろいろできないということは、結局そこであまりにも金を使ってしまったと。とんでもないことをしたと。その結果でしょう。こういう大変な、とんでもないことをしたのだという意識が、今、皆さんに聞いてみるとすぐ答えが出てこない。その程度の意識なんですよ。だからこういうことが起きる。

先週も申し上げましたが、これほどに大きな問題なのだから、この問題が起きた経過、なぜここまでずるずると引っ張ってきたか。もっと早く処置すれば、こんなに市民が負担しなくて済んだはずだと。そういうことで検証委員会を設けるべきだと申し上げました。市長は、最初はあまり乗り気ではなかった。でも、最終的に、検討しますというようなお答えをいただいたのでしょうか。でも、弱過ぎます。もっと明確に、これだけの大問題を起こしたのだから、この経過を明らかにして、この問題を風化させることなく、今後の茂原の市政にきちっと活かすべきだということで申し上げているので、明確な市長のお考えをいただきたい。

以上です。

## ☆市長

〇〇さんには毎回出ていただきましてありがとうございます。大変耳の痛い質問でございます。先ほど三浦から回答いたしました、これはバブル期という言い方は失礼かもしれませんが、それと前後して、地価がかなり急激に上がっていった。これは全国的な話でございます、そのときに当時の執行者が、どうしても先行取得しなければいけない、こういう思いもあって、恐らく借金をして土地を買いあさったのかなと、こういうことがうかがい知れます。これはもう、多分、〇〇さんもお分かりになると思いますが、ただ、それを先行したのが果たして良かったのか悪かったのか、これはもう、今の数字から見ますと、その当時の判断はちょっと異常になっていたのかなと、私もこういう気がしております。

ですが、これには難しい問題がございます、やはり基盤整備、特に都市化の流れの中で茂原市の開発を進めなければいけない。こういうことが一方においてあったわけでございます、それを同時進行で進めるためには先行取得もやむを得ない手段だったのかなと。したがって、その分だけ膨れ上がったと。これは単純な解答でございますが、そういうことが言えると思っております。

今、必死になって借金を戻しておりますが、おっしゃるとおり大変厳しいです。623億の中には広域と九十九里水道企業団の債務なども含まれております。それも、やはり市全体の借金として捉えなければいけない。

したがって、実際に市単独で借金がどれぐらいあるのかという話なのですが、それと過去の積み上がった借金がどれぐらいあるのかということは、今日まさかそういう質問が出ると思わないので、多分数字を拾ってきていないと思いますが、その辺の話は後で三浦から、〇〇さんに話をさせていただくとしても、もうちょっと厳しくやったほうが良いのではないかという話です。

これは、私も個人的にはそういう思いがありますが、先ほど回答しましたように議会の承認事項です。その都度その都度議会の承認を得て、この判断を年度ごとにやってきた。この積み重ねがございます。その当時のチェック機関として議会がそれを認めておりますので、私からは、あえて否定することは、非常に今の首長としては厳しい、難しい。当時はそれで良かったことになっておりますので、その議会の皆様方に、どう判断を下したのか聞いてみないと分からないところではあります、今は粛々と、とにかくこれを、何だかんだ言っても戻していかなければいけない宿命でございますので、私としては粛々とやらざるを得ない。最良の手段を使ってやっていくということでございます。

そういった意味では、今の行政の担当者にはかなり厳しく言っているつもりでございます。ですから、その辺を十分ご理解していただき、また私どもの判断を後で皆様方に、数字上で示さざるを得ないと、結果的にはなると思いますが、これはもう本当に、私その当時の執行者であれば止めたケースもいくつかあったのかなと。この予算はおかしいよということで。私はそのときの執行者ではございませんので、どうしても議会もそれに同意

して、執行者もそれをやっていったという経緯がございますから、この辺は理解していただきたいと思っています。非常に難しい問題でございます。

よろしいですか、答えになっていないかもしれませんが。

#### ◆質問者 1

市長のお立場はよく分かりました。私も、さっき市長が言われたとおり、チェック機関である議会がその機能をきちっと果たしていなかったということが大きな問題だと思います。しかしながら、議会というのは市民がアクセスする窓口が全然ないです。だから、今、私が申し上げたことの半分は議会に対してぶつきたいのですが、なかなかそういかない。

行政としては、先週も申し上げましたが、この市長と話し合う会、あるいは市民ふれあいミーティング、それから市長への手紙ということで3つの窓口が開いています。ところが議会は、一度選挙があって議員になってしまうと、何ら市民に対して意見を聞こうとか、全然そういう窓口がない。これがやはり一つ大きな問題だと思います。そういうことがもしあれば、その都度、市民からもチェックできたはずです。

これは、この会で市長にぶつける質問ではないかと思いますが、大方の市民が思っていることだと思いますので、また、ここで話し合われた結果はいずれ、昨年お願いしましてホームページに張り出していただくことになっておりますので、意識のある方であれば、市にどういう問題が起きているのか、なぜこういう問題が起きたのか、ある程度この話し合いの質疑の内容を見て理解していただけるのではないかと思います。そういう意味において、ぜひこの議論の結果はホームページに載せていただくと同時に、その要旨は1月の広報にも載るようですが、ホームページにあるということをもっと市民にPRしていただきたいと思います。

私は全部印刷しますので50ページぐらいになるんです、去年の分で。これを、パソコンを持っていない方もおられるので、自分で印刷して何人かの方に見ていただきました。その結果、非常に、どういうことが話し合われているか、市にどういう問題があるか分かったということですので、そういう趣旨でぜひよろしくをお願いします。

#### ☆企画財政部長

すぐ数字が出せなくて申しわけございませんでした。年度で借りたり売ったりがございますので。少し時間をいただいて、数字上は明確に提示いたしますので、ちょっとお時間をください。

※（最終ページに未回答資料あり）

#### ◆質問者 1

およそどれぐらいかかりますか。

## ☆企画財政部長

非常に手間がかかる仕事でございますので。ちょっとご理解いただきたいのですが。お願いいたします。

### ◆質問者 1

ありがとうございます。

### ◆議事進行者

それでは、これからは皆様からご意見を伺ってまいりたいと思います。

発言なさる方は挙手をしていただき、お名前または団体名をおっしゃってからご発言ください。

それでは、どうぞお願いいたします。

## 2. 今後の水害対策について

### ◆質問者 2

私は〇〇と申します。せっかく市長さんと顔を合わせて対話できるということで、一つ質問させていただきます。

広報もばら11月1日号に載っておりました水害対策において、市長さんのコラムに、次の台風へ備え、上流にあるため池の貯水量をできるだけ減らしておく、あるいは田んぼの保水力を有効に活用するということを検討していくと記載されておりました。

その具体的な方策と、あるいは進捗状況等が分かりましたらお話しいただければと思います。よろしく申し上げます。

## ☆市長

台風26号が去りまして、すぐ27号が既にこちらに向かっているということでございました。したがって、徹夜でいろいろと作業をしている中で、当面できる、単純な発想なのですが、上流部での保水力を高めるために何か施策をと思ったときに、今回の水害は、ちょっと感じたのは、一宮川水系の氾濫が結構厳しかったものですから、特に水沢方面の水量がちょっと多いかなと、これはもう、私どもの勝手な判断ですが、そういうふうに感じました。

「市長が行く」にも書きましたが、長柄と長南の両町には私から出向きまして、町長に直接、ため池の放水を、時間はないのですがすぐにやっていただけませんか、というお願いをしたところでございます。

それから、先ほど言ったように田んぼですね。稲刈りをしてある田んぼ、大体、稲刈り後はあぜ道のところの排水口を開けてあるのですが、今回は大至急、申しわけないのですが閉めていただけるようお願いしていただいただけませんか、という話をさせていただき

まして、この間、長南の町長からは、長南地区だけでもため池が40カ所以上あるんです。そこはあけましたと。長柄も多分同じようにやってくれていると思います。したがって、長南だけでもため池をあけますと、保水力は多分、茂原は今3つ調節池があるのですが、そのうちの1つに、概算ですが水量計算しますとほぼ匹敵するぐらいになるかなと思っております、それはすぐやっただくようお願いしました。

ただ、これも非常に時間がなくて、例えば、今日も言われたのですが、あるところで釣りを楽しみにしている人が、ため池に行ったら水が少なくなっていて、どうしてこんなに少なくしてしまっているんだと、逆にそういうクレームを町は受けたりしたということでございまして、非常にやりづらいといえますか、難しい局面でございました。

ですが、これは次のときも間違いなくやろうと思っています。私が一番心配しているのは、市民室でも言ったのですが、今の異常気象です。しかも大規模化してきております。今日の新聞を見られた方もいらっしゃると思うのですが、台風30号が、今、偏西風の関係だと思うのですが、フィリピンに向かっていきます。フィリピンで今、1,200人ぐらいの死者が出ているぐらいの大洪水というか大被害が起きています。これは、前にも書きましたが、間違いなく巨大化してきています。起きれば必ず同じような規模の水量かそれ以上。もう先般、ご存知のとおり、四国で650ミリの雨を降らせております。まだ今回は、先ほど言ったように273ミリか8ミリか、そんな数字です。

平成8年来たのが280から約300ミリ降っています。それよりも今回は少ないのです。少ないのですが、どういうわけか越流してしまった。これは県に、今もうやっているとありますが、本当に徹底的に調査していただいて、すぐ、越流できないようにしてもらわないと、毎年来ると思うのです、僕は。これぐらいの規模のやつは。だから、毎年来たときには、もう手の打ちようがないんです。

今回、この26号に対する予算執行が、茂原市だけで3億5,000万かかっています。市単独で出したお金が約2億弱。あとは国・県から助成が来ますので、それぐらいの予算規模が必要になってきます。それで、市民室でも話しましたが、1回とは限らない。台風は、下手すれば3回でも4回でも5回でも来ます。仮に3回来たとすれば、約10億の金が必要になってくる。これも単純計算なのですが、そうすると、基金をやっと20億積みそうですが、この20億があっても2年ですっ飛びます。

これはもう、本当にあくまでも想定内の話でございまして、想定外になってほしいのですが、こういう予測をしないほうがおかしいと、私は今思っております、行政、担当部長には、あくまでも短期間に、しかも今回の台風26号並みの台風が来ても何とかカバーできるぐらいの、何か対策を立てていかなければいけないと、こういう話を今やっています。

ただ、市だけでは無理なので、国・県も交えてやろうと思っているのですが、なかなかうまくいかなくて、そこは頭が痛いところですが、やっているのは事実でございまして、そこだけはご理解していただきたいと思っております。



先ほど言ったため池と田んぼは、今そういったことで既に手を打ちました。今後もそういうことをお願いしてまいりたいと思っております。ご理解をよろしくお願いします。

◆議事進行者

〇〇さん、よろしいでしょうか。

◆質問者2

どうもありがとうございました。お金のかからない方法で、皆さんのご協力を得て、田んぼの保水力を活用するというのは良い考えだなと思いました。ぜひ進めていただきたいと思えます。ありがとうございました。

◆議事進行者

では、ほかにご質問のある方はいらっしゃいますか。

はい、お願いします。

### 3. 災害時の保険について

◆質問者3

〇〇といいます。

質問というよりは要望がございまして、先ほど市長が保水力を活かすという、すごく良い考えだと思います。ただ、それは時期にもよりますので、例えば台風はいつ来るか分からないですが、秋ではなくて梅雨に来るタイプもあると思います。田んぼが満水状態のときに来たとき、それは多分、貯水池を今からつくったり、堤防をかき上げしたりとか、毎年来るとなると多分間に合いません。まず自分の命を守るために避難する。ただ、避難した後で、皆さんが今一番頭を悩ませているのが経済的な被害で、洪水で車が浸水してだめになった、商売している方は店舗がだめになったとか、消毒した後もおいがきつくて食べ物屋さんには営業できないとか、経済的な損失をやはりこうむります。

一つのアイデアとして、今、火災保険というのは住まい総合保険というふうになっています。風水害とか台風で被害を受けた部分は、大抵の火災保険や住まい保険は風水害の特約がついていまして、台風の被害で損害した部分を大部分、保険でみてくれます。うちの実家は山武市にあるのですが、3年か4年前の台風で、カーポートが吹き飛んで屋根が水漏れして、合計で140万、保険で申請して全部下りました。それで、床上浸水とかもしたのですが、台風で被害をこうむったものを全部保険で直しました。ただ、自分から申請しないとそれは下りないので、結構知らない方とか、自分の火災保険や住まい保険がそういう特約に入っているのを知らなくて泣き寝入りといいますか、それを広報なり何なり、保険の部分でまず保障できるものは保障すると。ただ、年金みたいに自分から申請しなければいけないので、そういう方法があるよということ、やはりこれだけ毎年来ると、低地

に住んでいる方はそういう保険に入るとか、あらかじめ命以外の経済的部分に関して備えをするといえますか、経済的に一番困っているのが実情だと思いますので、その部分を市のほうでもちょっと調べていただいて、市民の方に啓蒙していただくという。私の実家などは200万近く下りて、それで家を直しましたので、そういう手段があるよというのをちょっとお知らせいただければなど。市の広報でPRしていただければなどと思います。

以上です。

#### ☆総務部次長

ありがとうございます。総務の十枝と申します。

今、個人の保険の特約というお話のPRですが、いろいろなことを市民の皆さんに啓蒙していくというのは私たちの仕事になります。その中の一つとして、そういう保険のあり方、PRも含めながら、いただいたご助言を大切に検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

#### ◆質問者3

どうもありがとうございます。

#### ◆議事進行者

よろしいですか。ほかにご質問のある方。

### 4. 市のオープンデータの活用について

#### ◆質問者4

〇〇と申します。昨日のTBSの報道特集の中で、行政のオープンデータの活用について、これは千葉市ではちばレポというようなことをやっています。要するに、行政が出す情報、この間の災害とか住民の借金とか、そういうものを細かいデータを全て公表しまして、それを市民なり民間が活用するということで、市民のデータをパソコン等の中でオープンにして、それを民間活用すると。いろいろなものの活用方面があるということ、昨日、報道特集の中でやりまして、一つは、行政データを市民の財産であるという目的から、あるところでは税金はどこへ行ったかとか、そういうものを活用していくということが、これから行政と民間と市民とをつなぐ活用になるのではないかという報道だったのですが、このような考え方というのは、市長をはじめ行政側では何か感じられているのでしょうか。

昨日のことで、唐突で申しわけないのですが。

以上です。

#### ☆総務部長

総務部の麻生でございます。大変不勉強で、その辺のところをよく承知をしております

るので申しわけありませんが、基本的に、行政が持っている情報を出す、求められたら出すのではなくて、求められなくても積極的に出していくという趣旨でよろしいのでしょうか。

◆質問者 4

一昨年(2019年)の3月11日から、このようなデータをオープンに出して、これを市民活動に活用しようというところから発しているようです。要するに、日常出している市民のデータを、民間なりそれなりの人たちが活用できないか。簡単に言えば、今の茂原市の借金はどれくらいあって、どれがどういうふうになって、どこへどういうふうに使われてどこへ行ったのかということ、パソコンである程度、茂原市役所の中のどこを検索すれば出てくるのだろうか。それに対して市民が、どういう対策があるか何かしらアドバイスできないかというような、仕組みになっているようでございます。

昨日のテレビ番組からついつい思いついて、良いことだと思いついて、ちょうどいいチャンスに、こういう機会があるからちょっとお話ししてみようかなということ。千葉市ではちばレポというタイトルでやっているようでございます。

☆総務部長

ご趣旨はよく分かりました。行政が持っているデータを市民の方々が見ることができるような形で保管しておくという趣旨でよろしいですね。それを見た、例えば市民の方、また企業であるかもしれませんが、それを見た上で、その問題について、そのデータから、例えば政策について市に提案をしてくださったり、そういうふうと一緒に行政を考えてくれるための方法というか、ベースデータを皆さんに出すという受け取り方でよろしいですか。

◆質問者 4

それを出しておいて、あとはNPOなり何なりがそれを活用する。1つは、消火栓の場所がどこにあるかとか、それからもう1つは、市の中に消火器がどこに置いてあるかとか、街灯の配置図がどうなっているかとか。市とは関係ないのですが、テレビの中にあっただのは、消火器がどこに置いてあるかとか。それからいろいろな、AEDがどこに置いてあるかとか、そういうものをどういうふうに表示して、それを市民がどう活用できるか、特に消防活動、防災活動について、その中で話していました。

TBSを検索して調べてみていただけると。昨日の話のことですから、分かると思いますので。あまり私も、思いつきの中で今、申しているのですが、かえって申しわけないと思いますが、そういう活用を何か検討されてはいかがかなという思いで、今、おしゃべりしたわけでございます。

☆総務部長

ご提言ありがとうございました。調査研究してまいりたいと思います。ありがとうございました。

◆議事進行者

ほかにご質問のある方、お願いいたします。

5. 赤目川周辺地域の治水計画について

6. 本納駅東側改札口の計画について

◆質問者 5

〇〇と申します。今回の台風26号で、市の中心地のほうが随分大きな被害が出ましたので、本納のほうも道路冠水とか、2日間通れなかった地域とかがございまして、忘れられないように、ぜひ今のうちにお伝えしておきたいと思ひまして。

中学校の下の通学路、これは水・木と2日間通れませんでした。それからねぎぼうずの上の西側、あそこのところも通れませんでした。この地域、特に赤目川を中心とした地域の治水計画がどうなっているのかというのが1点でございます。

それからもう1つ、これは直接市とはあれですが、ぜひ、地域の発展と活性化のためにお願いしていきたいという要望も含めて、本納駅の東口に改札をつくる計画というのはあるのかなのか。もしあるとすれば、ぜひ後押しして、本納駅の地域の計画を進めていただきたいと考えております。

以上2点、よろしくお願いいたします。

☆都市建設部長

都市建設部長の鳩川でございます。それでは、赤目川の、というか本納地域の治水計画というご質問ですので、まず、赤目川の、今、県事業で改修をやっているのですが、これにつきましては、平成7年度から広域河川改修事業と住宅市街地盤整備事業におきまして、調節池の建設を含みます河川の整備促進を現在図っているところでございます。

現在までの進捗状況につきましては、総延長7.7キロのうち、事業費ベースで進捗率が現在80%でございます。これまで、護岸工事が南白亀川合流部より約4キロを継続事業で実施されておきまして、橋梁改修工事については、12橋あるのですがそのうち4橋ができ上がっています。つくらない橋もあるので、もう8橋新たにかかけかえるということだそうでございます。また、堰がたくさん、途中途中にございまして、この堰につきましては9カ所のうち今6カ所が完成している状況でございます。

それと並行しまして、A調節池とB調節池という2つの調節池を今やっております、A調節池が4ヘクタールで10万トン、B調節池が3ヘクタールで9万トンの形になっております。乗川合流点のB調節池については既に完成しております。A調節池につきましては

は、22年より遮水工といいまして、調節池を掘ると、あそこら辺はマコモ層ですから、法面が崩れてしまうといいますが、周りから地下水が噴出してきてしまうといいますが、そういうような状況なので、かなり深く、20メートルぐらい下まで、地盤改良みたいな形のコンクリートの壁をつくっています。その工事を今やっています、これがまだ2方向ができ上がったところで、今年から南側の工事に入っているということを伺っています。

赤目川の事業につきましては、当初、これは南白亀川合流点からJRの手前までの6.7キロメートルにつきましては平成26年度を目標に工事をしていたのですが、事業費の増大やそういったいろいろのものがございまして、完成までにはもう10年ぐらいはかかるのではないかという見通しだそうでございます。

あと、JR線と並行しまして乗川があるのですが、この乗川事業につきましては、本納駅周辺に被害が出ており、今回もなかなか水が引かないということで、私どもも台風が去ってから毎日見に行っていたのですが、1週間ぐらいはまだ越流しているカ所が残っていたりということで、相当水の引きが悪いという状況は認識していますが、これにつきましても、赤目川のほうから順次広げようということで、平成16年度より、抜本的な対策として、将来計画に基づいた河川断面によりまして用地買収を順次行っております。今までに区画整理を予定していた区域との境までの区域についてはおおむね用地買収が完了しています、全体では2万7000平米ほどの用地を買うような計画になっているのですが、それを1万600平米ぐらい、用地を買っています、事業費ベースで進捗率については40%ぐらいという状況です。

これは赤目川のほうから、もうかなりの延長を買収してございますので、赤目川の整備がなかなかできない中で、先に乗川を整備してしまうこともできませんので、そこら辺も整合を図りながら、赤目川がもう4、5年後に完成になるというときには、乗川のほうの工事と一緒にスタートをかけまして、部分的に調節池みたいな形で、川自体は流れないのですが、赤目川が完成したときには乗川もある程度完成するような形で同時にやっていると、赤目川が終わってから乗川の工事をやっていくという話になると、また乗川が10年、15年という形の事業になってしまいますから、ある程度は赤目川の事業進捗に合わせた形で乗川についても工事をやっていきたいなと考えております。

以上でございます。

#### ◆質問者5

ありがとうございました。ぜひ、早目をお願いいたします。

#### ☆企画財政部長

あと、東口の話をもう1回。JRとの協議については企画政策課というところでやっております。本納駅の東口については、ご存知のとおり今、土地区画整理の絡みがございま

すので、あそこがある程度めどがつかないとJRとの協議にはなりませんので、その進捗状況とあわせて、今後JRと設置、あるいは負担率とか、その辺の協議が進むと思います。ちょっとお時間はかかるかと思います。

◆議事進行者

ありがとうございました。

どうぞ。

## 7. 治水対策の想定年数について

◆質問者6

今の件で質問はできるんですか。赤目川の件で。

◆議事進行者

お願いします。

◆質問者6

先ほど、都市建設部長さんがおっしゃっていたのですが、一番大事なことで降雨量、洪水確率が何年に1回起きるということで計算しているかが一番大事なことだと思うのですが、それはどのぐらいで計算しているのですか。

☆都市建設部長

赤目川については、現在やっているのは10分の1と聞いています。

◆質問者6

じゃあ10年に1回、洪水、そのようなものが起きてもしょうがないという確率で計算なさって出しているということですよ。

☆都市建設部長

理論的にはそういう話になります。

◆質問者6

ちょっとそれだと、10年に1回洪水になってもしょうがないねということで、今直していることに対しては、失礼な言い方ですが一生懸命やっているのは認めますが、30年とか50年ぐらいにしないと、お金はかかりますけれども、今後、先ほども市長さんがおっしゃっていたけれど、ますます台風も大型化してくるので間に合わないのではないですか。そう思います。

耕作放棄地も増えていきますから、田んぼにためられる水の量も減ってきていると思いませんし、先、先ともっと考えていかないと難しいことですが、いけないのではないですか。そう思います。

**☆都市建設部長**

河川の計画自体は市でどうこうという話ではなくて、県のほうで計画をつくっているわけですが、恐らく南白亀川の流量が大きくないので、要するに赤目川だけ大きくしてしまいますと、結果的に南白亀川に負担がかかるということになるのだらうと思います。

ですから、本来は100年先を見越した河川計画をつくるべきなのでしょうが、当面、要するに50分の1とかいう想定でつくると、要は南白亀本流に負荷がかかってしまうということで、恐らく事業として認可にならないのではないかなという気がするのです。

**◆質問者6**

調節池を大きくすれば用水池という形で、あと、普段は公園で使うとか、そういったやり方はたくさんあると思えますし、九十九里の場合だと海拔がかなり、例えば本納側と海側とでもかなり高低差がないので、河道を高くしたとしても、先ほど言っていたように川幅が少ないので流れる量も、例えば1時間でも毎分当たり無理があると思うので、私としては遊水池をかなり大きい場所をとって、そこを公園にするとか何かしないと、もう改修できないのではないかと思うのですが。

**☆都市建設部長**

おっしゃるとおりだと思います。それで、河川改修自体は10分の1の確立での改修計画ですが、それに合わせてA調節池とB調節池と2つの調節池を建設しておりますので、その調節池がどのくらいまで機能するかということなのだらうと思います。それでもまだ足りないということであれば、さらに調節池をつくるとか、そういうことはやっていかなければいけないだらうと思っています。

**◆質問者6**

はい、分かりました。

**◆議事進行者**

では、ほかにご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

はい、お願いします。

**8. 水害と地盤沈下の関連性について**

**◆質問者7**

今の水害に関連することなのですが、先ほど市長も心配されていましたが、前回は280から300ミリの降雨でもあふれなかった。今回は272ミリですか、わずかにちょっと少ないのですが、それでもオーバーフローしたということで、異常気象も大規模化しているということで大変心配であると思います。

それで、原因なのですが、一つには茂原の地盤沈下ということは考えられないのか。主にガスくみ上げによる地盤沈下です。これに関してのデータ、市のどこの部署で捉えているのでしょうか、これまでの沈下量と、現在、毎年どれぐらい沈下しているのかということ、恐らく捉えられていると思うのです。実際、どこで測定しているか、茂原市の努力で測定しているか、県なのか国なのか、どこで調査しているのか、そして茂原としてはどこの部署でそれを捉えて、このことが、地盤沈下が影響していないのかどうか、これについて教えていただきたいと思います。

#### ☆経済環境部長

経済環境部の豊田と申します。地盤沈下と水害の直接の因果関係まではちょっと分からないのですが、その前に、地盤沈下の調査につきましては、特に九十九里地域でガスを採掘しておりますので、県のほうで調査をしております。

今、ちょっと調べてきたら、データが平成8年から13年までありまして、最高地点で年間2センチ前後です。平均的にならすと、ちょっと細かいところまでは調べていないのですが、多分1センチ前後ではないかなと思います。

それで、それ以前のお話としましては、昭和48年までは毎年10センチ前後沈下していたということです。その後、これではいけないということで、千葉県と天然ガスを採掘している企業との間で地盤沈下の防止に関する協定を結びまして、井戸を削減することと、かん水を採取しますが、その排出量、外に出る水をなるべく抑えましょうと。それで地下にまた還元、戻しましょうという協定を、48年から結んだということがございます。

その後、徐々に、地盤沈下がゼロになったということはないのですが、2センチ前後におさまっているということだそうです。

#### ◆質問者7

年間2センチというと小さいように思いますが、50年間だったら1メートルですよ。1メートル沈下したらどういうことかということ、海との海拔差がそれだけなくなるんです。ということは、川の流れが遅くなるということなんです。緩やかになってしまつて。これは当然、洪水の原因になりますよ。

だから、やはりこれはきちっとこれからもモニターしていかなければいけないし、対策もしていかなければいけないと思います。

ということで、これは継続的に、市としてもきちっと監視していただきたい。それから県なり国なりに言うべきことはちゃんと言って、これ以上、本当に、さっき言ったように



2センチというけれど、30年で60センチ。この間堤防をかさ上げたというのは何センチですか。そんなの帳消しにされてしまうでしょう。そういう問題なんですよ。

だから、これはやはりきちっとデータを把握して。これは茂原市の広報かどこかで公表されていますか。

#### ☆経済環境部長

市ではなくて、県のホームページに掲載されております。〇〇さんのおっしゃった、その2センチというのは、確かに私も少ないとは感じておりませんので、ちょっと専門分野の都市建設部のほうで答えればよろしいのでしょうか、今回の水害についても、県のほうで一応検討会議を設けるということですので、そういう〇〇さんから提案のありました地盤沈下との因果関係というか、その辺も含めて、今回の対策の中で県のほうに申し入れをして、検討していただくように持っていきたいと思います。

#### ◆質問者 7

前回行った堤防のかさ上げは何センチですか。

#### ☆都市建設部長

前回行った堤防のかさ上げは平均で60センチと聞いております。

#### ◆質問者 7

まさに30年分ですね。

#### ☆都市建設部長

おっしゃるとおりです。それで、今回、地盤沈下は、それはそれでやっているのですが、県といたしましても、今回の氾濫区域につきまして、全てもう1回測量を既にやっています、その辺の状況がどうなっているか、それを今、検証しているところでございます。

当然、これから、堤防のかさ上げをするのが良いのか、抜本的に下流側から広げるのが良いのか、あるいは調節池をつくるのが良いのか、いろいろな洪水対策の方法があるわけですが、そういった地盤沈下等のデータも当然加味しながら、今後の治水計画ができ上がるものと考えています。

## 9. 空地・空家周辺の側溝対策について

#### ◆質問者 7

ぜひ、調査の結果、それから今後の対策が出た場合には、市民にきちっと分かるように、何らかの形で知らせていただきたいと思います。

それからもう1点、今の水害に関して、最近、住宅造成地で、結構家が建っていない場

所があります。耕作放棄地ではないですが、何も使っていない。そうすると、のり面がきちっとした擁壁をつくっていないために、せっかくつくった側溝に泥が流れ込んでふさいでしまって、結局そういうことも、雨水がうまく流れないということで、洪水になる原因にもなり得るということだと思っておりますが、そういう、住んでいなくて、土地がそのままになっている、それで側溝をふさいでしまっている、こういうことに関しては、市としてはある程度調査をしたりして対策をとっておられるのか。もし地主が何もしないのであれば、市のほうである程度土砂を取り除いて、その費用を持ち主に請求するとか、そういう対策をすべきだと思うのですが、その点に関してはお考えをお聞きします。

#### ☆都市建設部長

側溝の清掃につきましては、これは道路の延長もすごく長いということで、側溝の延長も当然長いわけですから、正直な話、市で全てをやることは今のところ困難な状況にあります。自治会の方や、その側溝に隣接している方が、自分の排水が流れるということもあるのですが、皆さん方に掃除をしていただいているというか、維持管理をしていただいているのが実情でございます。

誰も住んでいないところで、要するに砂が流れ込んで側溝が埋まってしまうという形のところににつきましては、上流側に利用していただいている方たちがいれば、その上流側の方たちの水が流れなくなってしまうので、それはそれで、一連の作業として側溝の清掃をやっていただいて、その側溝清掃から上がった土については市が連絡をいただければ回収に伺っているというような形で処理している事例が多いだろうと思います。

ですから、一番上流側というか、誰も住んでいないところでそういう状況が起きると、当然、そこから水が流れなくなるわけですから、道路のほうへ水が流れ込んでいるというのは、恐らく茂原市内の中にそういう状況になっているところはたくさんあるのだろうと思います。それについての調査につきましては、今のところまだやっていません。

ですが、自治会さんや住民の方々がそのまま放置しておくと、U字溝側はいいのですが、反対側にU字溝がないと、道路を越流して流れると、結果として反対側の法面が崩れてしまうとか、そういうような状況になりますので、やはりそうすると道路が壊れますから、そのような状況が見受けられるときには市の職員が行って、道路が壊れるような状況になるような埋まり方をしている場合については撤去しているという状況でございます。

以上です。

#### ◆質問者 7

今のお話ですと、自治会にお願いするとか、あるいは周りの近所の住民にやってもらうのに任せるとかいうお話なのですが、もう皆さん、茂原に長く住んでいる方はみんなもう年配になっているんです。それで、あの重い側溝の蓋をあけて土砂をかき出すとか、それは自治会に頼むにしても、最終的には近くに住んでいる住民にお願いするということになるのですが、そういうことは無理ですよ。

だから、さっき申し上げたように、条例なら条例をつくって、不在地主で、そこに住んでいなくて土地を放りっ放しにしている、擁壁もない、それで土砂が流れ込んでいる。これは、一度取り出してもすぐにまた埋まるわけです。擁壁がないから。こんなことを何回も何回も住民にやらせるのはおかしいでしょう。それこそ、さっきあった何百億があったら、そんなもの簡単にできますよね。でも、今はそれができない。だったらどうするか。だったら条例をつくって、市の負担じゃないですよ、市が業者にやってもらって、それを地主に請求する、そのぐらいのことをやったらいかがでしょうかということです。条例をつくることに関してご意見をお伺いします。

**☆都市建設部長**

条例について、他市等でどういうふうな対応をしているのか、そういうことも調査させていただいて、検討させていただきたいと思います。

**◆再質問**

ぜひ、その検討結果は市民に知らせていただきたいと思います。

**☆都市建設部長**

茂原市が決して情報公開をしていないというわけではございませんので、何事につけても全て市の条例ですとかそういったものは見ればわかるという状況にはしておりますので、その辺のPRが足りないというところはあると思いますが……。

**◆質問者 7**

市にどういう条例があるか、それは確かに調べれば分かるでしょう。でも、市に今度新しくこういう条例ができましたと。検討の結果こういう条例ができましたということは、やはりPRするんじゃないですか。

**☆都市建設部長**

はい。ですから、そういうPRについては今後積極的にさせていただきたいと思います。

**10. 市長と話し合う会の会議録について**

**◆質問者 7**

申しわけないですがもう1つ。先ほど、この会議の質疑応答の結果はインターネットに張り出していただくということになっていますが、これに関連して、皆さんやはり市民全員がインターネットにアクセスできるわけでもないし、そういうことで、私は印刷して知り合いの方には見ていただきましたが、ぜひ、これを図書館や市の公共施設に印刷して備

えていただきたいと思います。そういうことによって多くの市民の目に触れる、市民の方が市の行政、あるいは議会について理解できるということになりますので。この件、よろしくをお願いします。

**☆秘書広報課長**

秘書広報課の山本です。ただいまの、冊子にして置くという件ですが、私ども、図書館と市民コーナー、市役所の1階ですが、そこに市の冊子を置いております。そこに、今年度の分から置かせていただきたいと思いますと思っています。

**◆質問者 7**

去年の分から置いたらいかがですか。

**☆秘書広報課長**

去年の分もつくりましたので、それも一緒に置かせていただきます。

**◆議事進行者**

よろしいですか。

それでは、ここで15分間の休憩をとりたいと思います。3時10分から後半を始めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

( 休 憩 )

**◆議事進行者**

それでは、後半の部を開始したいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、これより始めますが、再度申し上げますが、発言の際はお名前と所属があれば所属をお伝えください。よろしくお願いいたします。

前と同じように、お1人5分以内でご説明をいただいて、簡潔にお願いしたいと思います。

それでは始めたいと思います。どうぞ。

**11. 天然ガスを利用した電力業者の誘致について**

**◆質問者 8**

〇〇です。質問とかそういうことというよりも要望という形で、ちょっと建設的に考えていただきたいのですが、私は天然ガスに関しては素人なのですが、茂原市は天然ガスを産出しているところで、全国的にも有名だと思います。関東天然ガスさんが主にやっていますが、茂原市が天然ガスを掘るということは無理だと思うのですが、例え

ば電源開発という形で発電するような会社を誘致して、そこで電源確保させて、電源確保ということは、私たちも皆さんも被害がいろいろあったと思うのですが、東日本で停電になったとか、苦い思いがあると思うのです。そうすると、企業とか公共団体、電源を絶対確保しなければいけないというところが、例えばIT関係もそうですし、官公庁でもデータを収集している、配信しなければいけないところは絶対にそういう電源が切れるということはあってはならないことだと思うのです。

関東天然ガスの場合だと、私は素人で本当に調べていないのでよく分からないのですが、何10年とか何100年分のガスが関東のこの辺に埋まっているという話は聞いたことがあるので、茂原市として電源開発できないのだったら、大々的に全国に電源開発できる場所を探してもらって誘致してもらって、まず電力を発電するような会社に来てもらって、ここで電力を起こせば、電力が欲しいという会社が自然と集まると思うのです。集まってくれば雇用も生まれますし、税金も入ります。安定供給できるはずじゃないですか。

そうすれば、前半のときに借金がどうのこうのという話もありましたが、インフラ整備ということもあるし、国の機関とかも誘致できるじゃないですか。もっと前向きに、自分が持っている宝というものを有効に使って行って、茂原市が豊かになれば、先ほど言ったように洪水がどうのこうのとか、お金がないからというのではなくて、もっと福祉にも健康保険にもお金が使えて、何に使おうかなと前向きに考えられると思うのですが。

だから、ぜひとも、私は素人で分かりませんが、そういう形で、何かできるのだったら茂原市がそういう事業を興してもらえないかなと思うのです。お金がないお金がないと言っているだけではなくて、30年かけて地道に返すことも大事だと思うのですが、そういう形でもおもしろいことなのではないかなと。茂原市でできないのだったら県と協力してそういうことをやっていけば、県の機関だって茂原とかに調整に入ってくるといいますし、良いことだと思うのですが。そういうことです。

#### ◆議事進行者

ありがとうございます。

どうぞ。

#### ☆経済環境部長

貴重なご意見をありがとうございます。答えではないのですが、実は3.11の大震災があった直後に、市長からじきじきに、実は今、新治工業団地を進めておりますが、そういうところに、先ほど関東天然ガスとおっしゃっていましたが、ガスタービンを使った電力の発電所、そういうのができないかということで、震災直後に実際に関天さんのほうに当たりました。それで、やはり電源をやるについては、なかなか規模的なものがあつたりして非常に難しいということだったのです。ただし……。

◆質問者 8

関天さんに頼らなければいいと思います。

☆経済環境部長

はい。今後もそれについては踏まえて進めていくつもりなのですが、一応そういう状況もありました。

それともう1つは、先ほどの公社の土地と絡むのですが、市のほうで石神・八幡原地区のほうで未活用の土地がありましたので、そこに、今度は市のほうで土地を貸し付けまして、メガソーラー発電事業ということで、市のほうから冒頭も説明がありましたが、そういうことで一応電力にも、電力の地産地消というのができれば一番良い話ですので、多少なりともですが取り組んでおります。

〇〇さんからお話があった、関天さんがだめであればほかの企業というのも、いろいろ市長とともにトップセールスで企業誘致に回っておりますので、その辺を念頭に入れて、また今後も検討してまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

☆市長

豊田から話がありましたが、今のガスの発電事業は、根本的な話をしなかったので、私からつけ加えさせていただきます。これはガス会社が採掘権を持っていて、採掘権というのは非常に厳しいといいますか、手をつけられない、簡単に言うとそういう権利でございます。したがって、600年とか800年とかの埋蔵量はあるのですが、ほかを呼んできてやらせればいいのかという話なのですが、これはできません。ガス会社がオーケーしない限りは…。

◆質問者 8

掘るのは関天が掘ればいいということで、供給は大多喜ガスさんがすればいいということで、それを発電する会社を誘致すればいいと言っているんです。

☆市長

それも視野に入れて動いてはいるのです。いるのですが、全然採算的に合わないんです。はっきり言いますと。したがって、そういう会社は出てきません。今の、この地下から上がってきた、関天が掘り上げたガスを使って発電をする事業は、採算性からいうと今の電気の料金からすれば合わないということなのです。したがって、だから無理だと。

これは直接、関天の社長とすぐにあの後キャッチボールをやっていて、ガス会社でやれと。やってくれないかと。特区で、日本全国の中で特区でやっているのが北九州にございます。これは、余剰のガスを使って、新日鉄絡みなのですが、国がその一区画だけ認めまして、特別事業法人というような形で、目的会社でやらせているところがあります。

ただこれも、新日鉄が使って、余ったガスを地域内の発電に使用するというので、ここはそれで採算が合っています。採算が合っているというか、認められてやっているということでございまして、これを単独でガス会社でやろうとすると、今の事業体からすると非常に難しいと。簡単に言うとそんなことでございまして、どこかを呼んできてとか、どこかにやらせろとか、いろいろ、そういうことはすぐに思って、行動で動いたのですが、非常に今の事業ベースからいうと厳しいということでございます。

◆再質問

すみません、あまりしたくないのですが手短かに言いますと、その見積というか概算、大体予算というのはどこからとったんですか。関東さんですか。

☆市長

どこからもとっていませんが、基本的なベースからすると合いません。

◆質問者 8

その情報ソースはどこなのですか。

☆市長

仮に、とってもらっても結構です。だからそういう会社があれば引っ張ってきてもらって、それで行政がそれを受けてやるというのは可能だと思います。ただ、今のところ、日本の中にはないと思います。

◆質問者 8

それは言い切れないのではないですか。公にインターネットで公募するとか。小水力発電といったって、そういうものがあるのだから、小さくても発電できる……。

☆市長

今おっしゃっていることはよく分かります。全く同じような発想で動いてはいるのです。いるのですが、例えば今、猪瀬知事が東京にガスで発電設備をつくる、こういうような話をしまして、そんなところで電力を作るんだという話なのですが、これはこれでまた、規模的な問題と裏づけがまた全く違うのです。したがって、そういった複雑に絡んだ事業としてやろうとした場合には、なかなか難しい。

◆質問者 8

市で単独では無理ですが、こういうふうな、震災もあったのですから、国に事業費として引っ張ってくるような形で、国の補助事業でつくらせればいいじゃないですか。

☆市長

それは、おっしゃるのは簡単なのですが……。

◆質問者 8

だって、やらなければ意味がないじゃないですか。やってできないのだったらしようがないけれども。

☆市長

やろうとしています。やろうとはしているのですが、今言ったように、それにはなかなか、簡単にはいかない問題がいっぱいあるということです。

◆質問者 8

それは関東天然ガスさんが茂原で仕事をしていて、なかなか好きなことが市としてはできないとか、そういうことなんですか。

☆市長

それは全く違います。つまり、複合的に、例えばAの事業をやっているから、ついでにこの余った部分でBの事業を、というようなことの方でいけば、今のところまだ多分、それも特区を組んでですよ、北九州でやっているのはそういう事業ですので、単体でそれだけでやるということは多分出てこないのかなど。探してみてください、それは相談に乗りますので、いつでもどうぞお願いします。

◆質問者 8

分かりました。

◆議事進行者

今の問題、大変大きな問題も含んでおりますので、じっくりと別の会でやってください。お願いします。

ありがとうございました。ではそのほか、いらっしゃいますか。

はい、どうぞ。

## 12. 市バスの利用方法について

◆質問者 9

〇〇でございます。今までずっと難しい話ばかりですが、私は今、14区ですが、この公民館の、いろいろサークル活動しております。それからもう1つ、市民センターの



ほうでもしておりますが、市が所有しているバスがございますね。コスモス号、それからモバリん号とさつき号ですか、この3台のバスの運用についてお聞きしたいのです。

今年から、市の方針といいますか、我々ここの公民館活動をしている者の利用状況がちょっと変わってきたというふうに聞いております。と申しますのは、以前まではバスの利用は市の小中学校の運動会とか研修とか、自治会その他市の運営するもろもろの行事、事業について運転するというところでございまして、全部それには研修とか視察とかが入ってございますので利用はできるのですが、我々、ここの本納公民館の自主グループ連絡協議会というのがございまして、このサークルの団体が、今までは利用させていただいていたのですが、今年からそれは利用はまかりならぬと。どうしてかといいますと、公民館の活動の皆さん方には、研修・視察であるならばいいですよということです。

ところが、ご存知のとおり、公民館活動の中の各サークル、いろいろございます、文化的なサークルからスポーツのサークルとかいろいろございます。そのサークルの人たちが、行くのに果たして研修とか視察というのがあるのかどうか。これはやはり、そのメンバーが会うのはあくまでも親睦とかそういう目的で市のバスを利用させていただくのでありまして、今年から、それ以外はだめだとかいうことを言われております。

現実に、我々公民館活動をしている者からすれば、公民館活動をする、年寄りから若い人からいろいろな方が利用する人たちが、果たして研修とか視察ということが可能かどうか。そういうことを考えますと、やはり親睦がメインであるのに、そういう親睦の団体がバスを利用できないものかお聞きしたいです。

#### ☆総務部長

総務部の麻生でございます。今回、バスの運用の考え方を変えましたのは、もともとバスの利用は、今おっしゃられたように団体の視察、研修、その活動そのものに使うというのが元来の趣旨であったわけです。ただ、保有しておりますので、できるだけ空いているときは皆さんのご要望に応えるという形で、それがだんだん範囲が広がってきたという状況にありました。

ところが今は、そのように使いたい方がたくさん出てきましたので、本来の目的の趣旨に近づけようということで、いわゆる親睦等についてはご遠慮いただくという考え方にしたものでございます。

以上でございます。

#### ◆質問者9

分かりますが、我々公民館活動のメンバーからすれば、視察とか研修とか、ではどのように視察へ行くのか、研修へ行くのかといいますと、趣味のグループから、スポーツのグループから、ダンスとかそういう音楽のグループが、一つに集まってどういうところへ視察に行くのか、どういったことを研修するのかといったときに、これはもうばらばらになってしまうために、どうしてもあり得ないのです。現実にはあり得ないから、どうしても、

言い方は悪いですが親睦しか言葉がないのです。親睦という言葉になりますと、それでは無理だということは、それは分かりますが、しかも毎年、せいぜい1つの、この本納公民館でしたら年に1回か2回です。そのほかにも1回か2回しかございません。これをあえてノーと言われるのは何か腑に落ちないのですが。1回や2回ぐらいいいじゃないかという気持ちもありまして、しかもそういう、各公民館活動はこれからも、市の皆様方からすれば、もっと活動を活発化してほしいということがメインにあるのではないかと思うのです。

ですから、そういうサークルから声があれば、ぜひ、年に数回とは言いません、せいぜい1、2回で結構です、これを何とか利用させていただく方法がないものかと思って、今、お願いしているわけでございます。

◆議事進行者

いかがですか。

☆総務部長

大変申しわけなく思っておりますが、先ほど申し上げたような考え方を市全体でそういうふう調整することとしたものでございますので、何とぞご理解をいただきたいと思えます。

◆議事進行者

よろしいですか。私的に考えますと、司会がこんなことを言っちゃいかんのですが、何かやりよう、考えようがあるかなと。私も、バスはよく使うんです。研修で使いますけれど、何かいい便法が、勉強のための便法があるのかなと思うのですが。お互いに検討して、相談してあげてください。イタチゴッコで話し合いが進むとやりにくいですから。いかがですか。

◆質問者9

分かりました。一応そういうので知恵を絞りたいと思いますし、また今後、本納公民館自主グループ連絡協議会というのがございまして、その中で大いに知恵を絞って、市の皆様方から、何とかこれならオーケーというような形に持っていきたいと思っております。

◆議事進行者

お願いします。ありがとうございます。

それでは〇〇さん、どうぞ。

### 13. メガソーラー事業について

◆質問者10

何回も質問して申しわけありません。あまり質問がないようですので、もう1問質問させていただきます。

先ほど太陽光発電の施設を誘致したというか、お話がございました。市のホームページを見ますと、たしか東洋ケミカル機工という民間の企業の出資と書いてあったと思うのですが、ところが、3月の市議会の定例会の会議録には、太陽光発電事業は県が100%出資の事業であると書かれております。これはどういうことなのでしょう。どうも矛盾しているというか、内容が同じでないという感じを受けますのですが。

それから、先ほど市長からもお話がありました。この土地を貸すことによって市の収入というのはどのぐらいになるのでしょうか。

#### ☆経済環境部長

経済環境部の豊田です。〇〇さんが質問なさった、今の太陽光発電の関係なのですが、議事録に記載されていたものは、県からの補助を受けまして、一般住宅用に市が補助を、一般の人から、市民から募集をして行う事業です。

それで、先ほどおっしゃった東洋ケミカルさん云々という話は、市が土地を貸しまして、八幡原地区・石神地区に今回やるメガソーラーと。その違いです。

それから、金額ですが、土地の貸付料が1平米100円。それで、約3万8,000平米ございますので、3.8ヘクタールの面積です。年間にして380万円。これを撤去まで入れて一応21年間お貸しするというので、総額で7,800万円です。

それから、その他もろもろこれにかかる固定資産税、いわゆる設備の償却資産ですが、こちらが設置してから20年間になりますので、これが約4,700万円相当です。まだはつきり算定をしておりますので、約でご了解いただきたいと思います。

それで、この2つを合わせまして1億2,500万円ほどになります。

以上です。

#### ◆質問者10

ありがとうございました。そうすると、先ほどの議事録に書いてあるのは、これはいわゆる補助金ですね。各家庭の。

#### ☆経済環境部長

そうです。県からおりてくる補助金を使って、市が皆さんに募集をかけて、一般家庭用の太陽光発電をするという。

#### ◆質問者10

今年2回募集がありましたね。はい、わかりました。

◆議事進行者

ありがとうございます。

その他、いかがですか。はい、どうぞ。

14. 田中下踏切の一方通行化について

15. 茂原白子線の整備について

◆質問者 11

〇〇と申します。お願いがあるのですが、通学路の整備についてということで、予算的な問題もありましてすぐにはできないのかもしれませんが、私は今まで本納駅を使って朝、通勤をしております、田中下踏切って、すぐ横にありますよね。あそこの踏切、交互通行になっているものですから、子供たちが横を通るときに車がすれ違うわけです。非常に、傘を差したり、雨降りなんかは非常に危険ではないかなといつも思って通勤をしていたのですが、その辺の考え方がどうかということと、それから、白子線、バイパスから入って白子のほうに行く道路、分かりますか。31号線ですかね。あそこは道路が非常に広く整備、拡張されまして、朝とか夕方、ものすごいスピードで行っちゃうんです。80キロぐらいで通過している横を、子供たちが通学をしているという状況を見かけるのですが、その辺の取り締まりの強化と、それから道路標識が非常にあそこは少ないような感じがしておりますので、その辺の設置をお願いしたいと考えております。

この件について、よろしくお願ひしたいと思ひますが。

☆市民部長

市民部の森川と申します。ただいまの〇〇さんのご質問ですが、初めに、田中下踏切の通学時間帯の一方通行化という部分の要望だと思うのですが、この部分につきましては、警察のほうと協議いたしまして、本道路は生活道路であり、住民が昔からなじんだ道路であるので、次のような条件が必要になってくると。

2点ほどあるのですが、1点目は、要望する部分を今まで通ってきた車の迂回できる道があること。これは生活道路ですから、当然、今使っている車もあるわけですが、その迂回路は歩行者が安全に通行できるかどうかというのが1点目です。2点目に、一方通行になることについて、付近の住民から同意が得ているかどうか。

この辺を住民と協議した中で、この調整ができれば、市長名で茂原警察のほうに要望書を出していただきたいというような回答でした。

あと、茂原白子線の県道の交通事故防止の標識の関係ですが、これにつきましても、警察のほうでは非常に危険性の高い道路だということは認識していますと。ただ、重点的にここを取り締まるということは、この路線だけはできるかというとなかなかできないというようなことですので、これにつきましては、交通標識の充実について、例えばスピード

を落とせとか看板の設置、歩道の除草について、県の長生土木事務所に要望していければと考えております。

以上でございます。

◆質問者 1 1

分かりました。あと1つ、私は自治会長になりまして、本納支所を含めて、市のそれぞれの課にいろいろなご要望とかお願いとかに行っているのですが、非常に対応が良くて、すばらしいなと思っています。できることは早急にやっていただくということで、この前の災害のときにも、ミラーが2カ所ほど曲がったりしたのですが、すぐ対応していただいたという状況で、すぐやっていただいたから良いかという問題ではないのですが、非常に対応が良いので、これは引き続きやっていただきたいと考えております。よろしくお願ひします。

◆議事進行者

ありがとうございました。

はい、どうぞ。

## 16. ハザードマップの活用について

◆質問者 1 2

〇〇です。水害に関連した要望を一つお願いいたします。

私は40年前に縁あって本納の駅下に家を構えたわけですが、現在まで3回、床下浸水に遭遇しております。これは、自分が家を建てるときに土地調査を十分にしなかったという自己責任があるから、それはどうこうということはいませんが、家を建てるときには、恐らく建築指導課の許可を得るのだと思うのです。だから、建築指導課に許可をもらいに来た場合に、ここは土地が低いですよとか、何とかそういうちょっとした助言をいただければ、私のようなものが防げるのではないかと思います。それをちょっとお願いしたいと思います。

というのは、もう1つ、11月3日に、私がこの公民館に来ましたときに、玄関のところに、災害マップの立派なのがあったのです。それを見ましたときに、ああ、これが、立派なもののできているのであれば、建築指導課で誰かが許可を求めた場合に、ちょっとした助言が、この災害マップが生きてくると、こういうような気がしますので、よろしく、チャンスは少ないと思いますが、よろしく、何かあったらご検討いただきたい。

以上です。

☆都市建設部長

ご質問のとおりだと思います。それで、市も今言っていただきました浸水マップという

ものをつくって、この区域については大雨が降ると危険ですよという部分は示してございますので、そこら辺の周知についてはできるだけ機会があればやっていきたいと思っております。

◆質問者 1 2

お願いいたします。

◆議事進行者

そのほか、よろしいですか。

はい、どうぞ。

1 7. 河川周辺の治水対策について

1 8. 消防団団員の確保について

◆質問者 1 3

〇〇と申します。いつもちょっとしゃべらせていただいているわけですが、またかというような形になるかもしれません。

赤目川水系、乗川水系、それと東地区の水利計画はそれぞれリンクしていると思いますので、今ここでがたがた申し上げても始まりませんので、なるべく早い対応をお願いしたいと、これが1つ。

それと、先般の台風、大島と茂原というような形で甚大な被害があったわけでございます。そういう中で、大島は自衛隊、警察、地元消防というような形で、また亡くなられた方たちもおられたところだと思います。

そういう中で、地元の消防団の、今、なり手がいないというような形が一つ大きな問題になってくるのではなからうかと思っております。特に今、地域の消防団に入る人もいない。入っても今、こういう状況の中で、会社勤めの若い人たちは、そっちへ出ていけば自分の首が危ないというような形の中で、なかなか入りたくないというような形で、だんだん仲間内で探していても、入って名前だけというような形の中で、出てくれない人もいるというようなことも聞いているところでございます。

そういう中で、補助金とかそういうのも大分厳しい状況の中での活動だと。最終的にはいろいろなことがあったときには消防団というような形で、地元もなるべく寄附などで協力をしているわけですが、一部の地域は全然払えないような事もあるようには聞いております。若干このごろ出て、少しは払ってくれるというような形があるわけですが、そういう中で、ぜひ茂原市としても、企業とか勤め先の企業、そういうそばに地元の消防団の、入ってくれというような要望を、要請をしていただければ、大分違うのではなからうかと考えております。ぜひ、広報等も使って、そういう要請もしていただきたいと考えております。補助金の問題、また企業等の要請ということで、ぜひお願いしたいと考えており

ます。

◆議事進行者

ありがとうございます。では回答を。

☆都市建設部長

それでは、前段の赤目川と乗川の整備の関係ですが、これは毎年、赤目川については県事業ですので、市といたしましては県のほうに毎年要望活動等を行っていきまして、ちなみに、平成24年度の赤目川の事業費が3億1,500万円でございます。今年度については3億3,000万円ということでやっているわけですが、24年度と比べてほんの少しですが事業費の増を今年認めていただいたということで、今後も、この事業費を多く投入していただくというのが早く終わるといことになりまますので、この辺については引き続き県のほうへお願いしていきたくと考えております。

また、乗川についても、毎年予算化しまして、赤目川の進捗に合わせて工事が進められるよう、今、鋭意用地買収のほうを行っておりますので、これも数年後には大体、駅下の路線については用地買収ができる見通しになっていきますので、これについても事業化の見通しが、赤目川のほうの見通しがつけば、市としても早々に事業化に入っていきたいと考えております。よろしくお願いたします。

◆質問者13

赤目川と乗川、赤目川は市長さんも推進協議会の委員長ですので、ぜひお金をもらってきてもらいたいという形と、それと、水害のときに上流部分のいろいろな話がありました。

特に、先ほどちょっと休憩時間に話したのですが、実際には県のほうにバイパスのため池、あれも何年か前にちょっと質問したのですが、一向にそのままになっているというような形で、今回、知事も見えたようですので、ぜひその辺の掘削や、浚渫をお願いしたいというような形で、そうすれば、下へ流れる水も幾らか少なくなってくる。下で調節池をつくっても、効果的にはそんなにないと。上につくっていただかないとどうにもならない。特に、向こうの高田地区の部分については全部下へ流れてくるというような形もありますので、A調節池がどれだけ機能するのかわかりませんが、なるべく上につくれば上の水が流れてきませんので、その辺も一考願いたいと考えています。

以上です。

◆議事進行者

ありがとうございます。

☆都市建設部次長

ただいまの調節池のお話ですが、それこそ台風27号のときには、藤谷堰の栓を事前にあけていただきまして、水位を低下させていただきありがとうございました。

私も現地確認に行きましたが、本当に余水吐から流れる量と、事前に通常のところから流す量は全く違いますので、そういった形でご協力をいただきましてありがとうございました。

それと、県道五井本納線バイパスの調整池の関係ですが、昨年も同様のお話をいただいたと思っておりますが、県のほうにはお伝えして、何とか地元も管理のほうを行っている中で、浚渫のほうを行っていただきたいという要望をしております。今回、まだされていないということですので、また引き続き、県に早急にやっていただくように要望してまいりたいと思っております。

以上でございます。

◆議事進行者

ありがとうございます。それから、消防団の。はい。

☆総務部長

消防団の関係でございますが、本当に、今度の災害ももちろんそうですが、夜警ですとか、また街のほうでは七夕まつりのときの警備で大変お世話になっておりまして、非常に感謝しております。

おっしゃるように、団員の方の確保が非常に難しい状況になっているということも、我々も十分承知しておりまして、これは何とか取り組まなければいけないと思っております。では具体的にどんな策があるかといいますと、本当に正直申し上げまして、これだという策が見当たらないというのが実情でございます。

今お話しいただいた、企業等への働きかけといいたいでしょうか、そういうものも含めまして取り組んでまいりたいと思っております。

◆議事進行者

ありがとうございます。よろしいですか。

それでは、4時も近づいてまいりましたが、この辺で終了したいと思います。よろしいですか。

はい、どうぞ。

## 19. 市ホームページの更新日について

◆質問者14

今回の市長と話し合う会、公募でも案内がありましたが、ホームページもあります。毎年私は楽しみにしているのですが、今年の7月か8月にホームページを開きましたら、出



ているんです。出ているので、ああそうか、この日かと思って曜日を比べてみたら違う。そうしたら去年のが出ているんです。今年の7月か8月ですよ。その案内が、去年の案内が出ているのです。

これはないと思いますよ。ホームページをどこで管理されているのかわからないけれど、今年の7月か8月になって、今年の案内ではなくて去年の案内が出ている。これはまずいと思いますよ。ぜひ、そのホームページだけではなくて、何日に更新と書いてあるわけです。更新と。まさに今年の7月なり8月の更新日なのです。だから当然、今年更新したのだから今年の案内が出ているのかと思ったら、去年の案内がそのまま載っているわけ。こういうことをやっていたのではいけないと思います。ぜひ、市のホームページ全て、更新日があるのであれば、その最新のデータを載せるべきであると、これは当然だと思いますので。どなたが担当なのでしょうか。お答えをお願いします。

**☆秘書広報課長**

ホームページを担当しております、秘書広報課というところでやっておりますが、今ご指摘のあった内容については、市長と話し合う会の去年の内容を載せたページのことではございませんか。

**◆質問者 14**

いえいえ。市長と話し合う会というところでボタンを押したわけです。そうしたら。

**☆秘書広報課長**

会議録が載っていたところではございませんでしょうか。

**◆質問者 14**

いや、案内はそれしかないですからね。市長と話し合う会というホームページ。

**☆秘書広報課長**

もしそういうふうに掲載されていたら、申し訳ありません。

**◆質問者 14**

じゃあ、今年の分はいつ出したのですか。

**☆秘書広報課長**

7月に掲載させていただきました。

◆質問者 1 4

それはおかしいな。私がとにかく見たときは去年のだったので、日にちが何かおかしいなど。よく見たら去年の案内がそのまま載っていたと。

☆秘書広報課長

すみません、〇〇さんがご指摘いただいたことがあるようであれば、今後そういうことのないようにチェックさせていただいて、訂正させていただきます。すみません。

◆質問者 1 4

はい、お願いします。

◆議事進行者

ありがとうございました。いずれにしても、お互いが切磋琢磨しないと事は進まないなということです。

本日は大変有意義なお話をたくさんいただきました。ありがとうございました。いずれにしろ、我々司会としても、両名とも各地区の自治体の会長でございます。私は本納、〇〇は新治地区ということでございますので、今日の話も参考にして、皆さんと一緒にいろいろ頑張りたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

それでは最後に、市長に総括をお願いします。よろしくどうぞ。

☆市長

長時間にわたりましてありがとうございました。いろいろなご意見をいただきまして、すぐに反映させていけるものと、また参考にして検討させていただくものといろいろあると思いますが、対応してまいりたいと思っております。本当にありがとうございました。

いくつか気になったことがございますので、ちょっと話させてもらいますが、〇〇さんから提案をいただきました保険に関しては、やはり住民の方があまり知られていない方もいらっしゃると思いますので、この辺は広報を介してよく周知させるように徹底させたいと思っております。またいつ来るかわかりませんので、行政は最大限配慮をして、やるべきことをやっていきたいと思っておりますが、まず水害の件に関して、上流部の、先ほど話したように保水力を高める、いろいろなやり方がありますので、あらゆる手は尽くします。それ以上に、上流部にため池、調節池を再度つくるように、今月中にまた知事と話し合う会がありますので、要望させていただこうかなと思っております。

それから、抜本的に完璧な対策を打てるかどうかは非常に難しい問題でございます。今ちょっと考えているのは、万里の長城ではありませんが、川の、先ほど言ったように60センチぐらい、平成8年の水害のときに、激甚災害の指定により土手の堤防のかさ上げをしているのです。ですが、60センチ上げて今回の水害が起きてしまったということで

ございますので、さらに、これはあくまでも私見ですが、既に県会議員にお願いして検討してもらえないかという話はしています。さらに1メートルぐらい、これは堤防ではなくてコンクリートの擁壁みたいなものを約4.5キロ、今のところ考慮している範囲でございますが、ただ、これは4.5ではちょっとおさまりそうにないので、片面10キロ、これは分からないです、大ざっぱです、10キロ、つまり両サイドに行きますから20キロを、コンクリートの擁壁みたいなものを、見栄えは言っていられませんので、今は景観とか何とかいろいろ言われるのですが、その辺もある程度考慮しながら、やれないかというようなことで検討をしていきたいと思っています。ちょっとお金がかかりますが、この辺は県、それから国も交えて、真剣に考えてくれるのではないかなと思っています。

もちろん、調節池のヘドロを取ったり、あるいは川の整備をしたり、こんなのは当たり前なのですが、同時進行で今言ったようなこともやって、何とか河川の氾濫を防げないかと、こういう思いであります。ただ、難しい問題がいっぱいありますので、時間がかかると思っています。

それから、〇〇さんはさっき、誤解しているところがあるかもしれませんが、平成8年も、先ほど、最初に言ったのですが、300ミリ弱の雨です。そのときに氾濫しました。今回はそれよりも少ない。それで氾濫してしまったということで、大体今思うのは、局所的ですが、そのクラスの雨が降れば氾濫してしまうのかなという感じで捉えております。したがって、この辺は県がどういうふうに検証しているか分かりませんが、学者の言うことはちょっと当てにならないんですね。だから、その辺はちょっと強く言っていくつもりであります。

それと、〇〇さんから言われたのですが、ちばレポ。行政は、簡単に言うと市役所は本当に宣伝が下手です。私も認めます。PRが下手なので、ちょっと考えるというようなことを常に言っておりますが、ですがなかなか難しい問題もいろいろありまして、この辺は考慮して、千葉ができるものを茂原でできないということはないので、こういうようなことも取り組みたいと思っています。

それから、〇〇さんですかね、家の住宅の床下、3回も水没をしているということで、買うときに建築課にその辺の話を、ここは水害が多く出ているところですよというような話をしてくれというような話を。検討させます。これは、ただ、不動産屋さんとぶつかることがあると思いますが、この辺はうまく調整して、やはり、それはもう言っていないとまずいかなと思っています。特に、市民室でやったときは八千代、それからあの辺の長清水の方たちからは本当に、こんなところは住んでいられないと。固定資産税を取られるような土地ではないと。地価をもっと下げてもらいたいとか、いろいろなことを言われておりますので、この辺も視野に入れて、ちょっと検討してまいりたいと思っています。

それから消防団ですが、消防団は非常に厳しいです。消防団になる人の、何か特典がないかということで今、検討しています。なったら何か特典があるかというようなことでも視野に入れないと、消防団になり手は、非常に今厳しい。

これはもう、大分前から、私が県議のときからもう話が出ていまして、こういうことをとにかくちょっと率先してやらないんですよね。もっと手早くばっばとやっていけばいいのですが、そういうのがなかなか下手なところがございますので、何か早急にそういったものも考えて対応してまいりたいと思っています。

それから、バスの運用ですが、これはやはり知恵を出していきたいと思います。これは、行政もそんな、かた苦しいことを言っていますが、使ってもらいたいのは趣旨なので。ただ、問題は、範囲がかなり広がっているのではないかと思うのです、恐らく。そこが非常に、本来の意味で利用したい、研修やそういう目的で使いたいといったときに使えなくなっているというので、結構絞ってきたのかなと。

バスによってはお子さんなどが乗せられない場合があるのです。市のバスには運転の規制がかかっていまして、シートベルトとか、ちょっとあります。その辺も加味して、よく相談をしていただきたい。本当に行きたいということであれば、全くだめだという話ではないと思っておりますので、相談をしていただきたいと思います。

それから、田中下踏切は、これはやはり、ちょっと時間がかかると思います。いろいろやっていますが難しい問題があるということで、先ほども答弁したと思いますが、根気強くやっていくつもりでおりますので、ご理解を。子供たちの安全とか、こういうことを考えますといの一番でやらなければいけないと思っておりますので、前向きに取り組んでいきたいと思えます。

それと、何かいっぱいあったのですが…。地盤沈下は、県に地盤沈下対策協議会という問題研究会ができております。これは、実際、この一帯から千葉の上のほうにかけて地盤沈下しておりまして、これはやはりまずいということで、ガス会社には相当規制がかかっております。先ほど600年とか800年とか埋蔵量があると言いましたが、年間のくみ上げの規制がかかっておりまして、ガス会社はそれ以上くみ上げできない。こういうようなところも、さっきのガス発電の話とはちょっと違うのですが、存在しています。

それで、ガスタービンの話をしますと、熱効果からいうと、この天然ガスというのは熱効果あまり良くないんです。したがって、その辺の採算ラインも多分計算しての話ではないかなと。

それから、発電用にするためには、先ほど言ったように複合的でないと、やはり日本の場合は難しいと思います。特区でやっているのは、新日鉄がガスタービンを持っていて、それを新日鉄が使った余熱を、ガスを発電用を使うということなので、それもしかかも特別区にしてやっていると。

茂原もそれができないかという話もやったことがあるのですが、ここも、だから天然ガスを使ってと、またさっきと発想は一緒なのですが、要するに、ジャパンディスプレイがガスタービンを使います。ガスタービンを使って、その余熱を使って電気代を安くするとか、こういうことは可能なのですが、単独でやるとなるとものすごい金がかかりますので、非常に難しいかなという気がします。だから、もしそういう話があれば、相談に乗ります

の言ってきたいただければと思います。

そんなことで、何かまだいっぱいあったような気がしますが、本当に貴重な意見をいろいろと聞かせていただきました。これを頭の中に入れて、さらに茂原市のために一生懸命やっていきたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。本当に、今日のご苦労さまでございました。ありがとうございました。

◆議事進行者

ありがとうございました。

それでは最後に、事務局から何か報告事項、連絡事項はございますか。

◆事務局

ただいま市長からお話がありましたが、本日、皆様からいただきましたご意見、ご要望につきましては、できるものは早急に、またそうでないものにつきましては計画を持ちまして対応してまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

また、本日ご意見、ご要望をされなかった方につきましては、「市長への手紙」、この会場の後ろに、また公共施設に備えつけてございます。それとファックス、メールでも受け付けておりますので、お気軽に市のほうに送っていただければ、市長のほうから回答させていただきますのでよろしく願いいたします。

以上です。

◆議事進行者

ありがとうございました。

それでは、これをもちまして、今年の市長と話し合う会、終了したいと思います。ありがとうございました。

当日未回答資料

## 1. 茂原市土地開発公社の負債総額について

## 茂原市土地開発公社年度別借入金・返済金・支払利息

(単位:円)

年度	借入金	返済金	支払利息
昭和 49 年度	644,890,000	33,000,000	26,086,411
昭和 50 年度	1,179,418,000	889,610,000	54,778,874
昭和 51 年度	332,100,000	174,050,000	103,180,807
昭和 52 年度	1,359,470,000	871,240,000	133,054,532
昭和 53 年度	1,122,375,000	692,744,000	124,141,633
昭和 54 年度	1,241,076,000	1,175,155,000	134,483,055
昭和 55 年度	1,218,138,000	788,618,000	175,263,983
昭和 56 年度	1,284,051,446	1,185,110,000	204,407,990
昭和 57 年度	2,176,695,554	1,093,577,000	204,086,673
昭和 58 年度	1,782,332,000	383,613,000	335,836,455
昭和 59 年度	1,395,282,000	782,959,000	379,850,014
昭和 60 年度	1,539,639,162	428,315,000	395,880,676
昭和 61 年度	1,348,451,500	885,628,000	425,617,321
昭和 62 年度	1,206,330,000	1,914,577,000	355,249,348
昭和 63 年度	896,987,000	1,783,093,000	301,726,942

平成元年度	1,060,336,000	960,782,000	292,861,147
平成2年度	8,943,840,000	2,024,629,662	541,374,210
平成3年度	8,676,679,000	1,238,158,000	1,039,202,228
平成4年度	5,201,439,000	2,936,678,000	1,061,501,160
平成5年度	4,051,318,000	2,787,686,000	900,366,351
平成6年度	1,740,310,000	2,907,489,000	734,024,483
平成7年度	2,138,559,000	2,248,041,000	552,501,645
平成8年度	770,805,000	1,129,300,000	454,060,943
平成9年度	1,363,436,000	1,218,652,000	461,023,343
平成10年度	497,609,000	601,924,000	458,710,883
平成11年度	860,879,000	847,594,000	454,456,125
平成12年度	1,163,402,000	1,392,738,000	465,090,692
平成13年度	883,905,000	2,077,428,000	428,771,973
平成14年度	722,669,000	1,182,302,000	359,954,682
平成15年度	697,738,000	1,077,783,000	347,931,705
平成16年度	1,014,563,000	1,031,616,000	338,014,146
平成17年度	495,646,000	932,202,000	326,970,410
平成18年度	959,598,000	1,361,072,000	328,631,036
平成19年度	386,591,570	877,233,000	372,329,592
平成20年度	0	1,523,262,000	341,814,995
平成21年度	0	411,591,570	286,969,317
平成22年度	0	715,641,000	283,731,647
平成23年度	0	1,166,942,000	267,869,431
平成24年度	0	0	138,889,190
計	60,356,558,232	45,732,033,232	14,590,696,048